

解離性大動脈瘤の1治験例

A case of chronic De Bakey III dissecting aneurysm with recurrent peripheral embolism treated successfully by Ivalon sponge occlusion method.

(千葉市立海浜病院心臓血管外科)

沖本 光典・上村 重明・阿部 弘幸・
伊東 治武・村上 和

4年前発症の慢性 De Bakey III 解離性大動脈瘤が原因で、左下肢の急性動脈塞栓を4回繰り返した54歳男性に対して、一時的体外バイパスを用いて entry の閉鎖と、末梢側解離腔へ Ivalon sponge を挿入し血栓閉鎖をはかった。解離腔は、腎動脈直上まで血栓閉鎖され、下肢塞栓症も起こっていない。

85. Delayed sternal closure の2成功例

Experiences of delayed sternal closure. —A useful technique to prevent compression of the heart—

(済生会宇都宮病院心臓血管外科)

四津 良平・木曾 一誠・梅津 泰洋・

下山 嘉章・仲村 準

体外循環2症例(A-C bypass, III型解離)の術後に応用した。1例は胸骨の離開固定に金属プレートを螺子にて固定、皮膚を直接縫合した。1例は Gore-Tex シートを人工皮膚として紡錘型に縫合被覆し胸骨は離開放置した。各々6日目と10日目に delayed sternal closure を行い救命しえ、いずれも創感染もなく退院した。

86. 強度側彎症を合併した漏斗胸の1治験例

Surgical treatment of the funnel chest associated with the idiopathic scoliosis.

(東京女子医科大学胸部外科)

兼安 秀人・毛井 純一・前 昌宏・
笠置 康・板岡 俊成・横山 正義・
和田 寿郎

今回、我々は特発性側彎症および漏斗胸を合併する14歳女性に対し、側彎症矯正手術に引き続き、漏斗胸の外科治療として胸肋挙上術(SCE)を施行し良好な結果を得たので報告する。

18:15 閉会